

毎週日曜発行
2026 6/21

こども新聞
週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



仕事の大変さ・やりがいを聞く

ニュース



こども記者が取材

みんなは自分の家族がどんな仕事をしているか知ってる？ 宮城県石巻



夫婦で「割烹川なみ」を営む佐藤あつ子さん(左)に取材する「こども記者」

石巻市の「割烹川なみ」は、佐藤さんの祖父母、

市大谷地小5年の佐藤宗馬さん(10)と佐々木健さん(10)との2人が「こども記者」として、家族が営む地元のレストランと農事組合法人を取材。仕事の大変さややりがいなどを聞いてみました。

(8面に関連記事)

お客さんと会話、楽しい

佐藤敏記さん(71)、あつ子さん(74)夫妻が2人で営む食堂です。1979年に創業。ラーメンやそばの麺類から丼物、定食など約40種類のメニューがあり、地元だけでなく、遠くからもお客さんが訪れます。



取材には、あつさんが応じてくれました。自分の店を持つことは、板前修業を重ねた敏記さんの夢でした。長男となる佐藤さんの父が生まれ、「波のようにいい時も悪い時もあるだろうけれど、家族3人で頑張ろう」という思いを込めて「川なみ」と命名しました。

1日の中で一番忙しいのは午前11時半から午後2時。「お客さんがひっきりなしに来ます。午後3時を過ぎて、ようやく自分たちがお昼ご飯を取れる時もあります」と教えてくれました。人気メニューはカツ丼。五目タンメンもおいしいと評判です。シンプルなおラーメンは1杯5

50円。「1度だけ値上げしたけれど、値段はほぼ同じでやってきた」と言います。

「なぜ安くしているのですか」という「孫記者」の質問には「この店はみんなに育てられてきた。お世話になった感謝の気持ちを地域に還元したい」と答えてくれました。新型コロナウイルスの影響でお客さんが減り、大変だった時期もありました。「それでもほぼ毎日来てくれるお客さんがいて、ありがたかった。やめようとは思わなかった」と振り返ります。



「お店を続ける秘訣はありますか」と聞きました。「おいしかった』『また来ます』と声をかけられるとうれしくなる。お客さんがいたから続けた」と話しました。「これからもお客さんとの会話を楽しみながら、気負わずに続けていきたい」とほほ笑むあつ子さんに、こども記者2人も笑顔になりました。

この日 何の日

◇21日(日) 夏至
季節の目安を表す「二十四節気」の一つで、日本を含む北半球では最も太陽が出てる時間が長い日になるんだ。日本では、夏至が22日になる時もあるんだけど、少なくとも2055年までは21日が夏至なんだよ。

今日の紙面

- 2面 世界へんてこ建物ツアー
- 3面 連載「古代のモンスター」
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて話して こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 農事組合法人の仕事って？

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ